



はやり  
流行ものから  
見えるもの

## 不況が変える「婚活」事情

―男は逆チョコ・女はエステ?―

今年の冒頭を飾った隠れヒット商品が、「逆チョコ」と「ホームエステ」だろうか。前者は、あの二月のパレンタインデーに(女性からではなくて)男性が意中の女性にチョコを渡す、という珍現象。後者は、消費低迷で苦戦する女性用化粧品を尻目に、素肌磨きのパックを筆頭とした自宅で美肌をつくる商品群の人気。そんな両者に共通するキーワードが、実は「婚活(結婚活動)」なのである。

バブル後の就職難の時期に「就活(就職活動)」という言葉も生まれたが、今は「結婚」も同じように必死の努力が求められる、という意味の流行語。しかも、その背後には、やはり不況の影が潜んでいそうだ。

◆ 逆チョコの発端は、売り上げ不振に悩む菓子業界が仕掛けた起死回生のキャンペーン。それが大きな話題となったのは、昨今の結婚できない男たちの増殖

だろう。内閣府の二〇〇五年国勢調査でも、三十代前半の未婚男性は十年前の三倍強にあたる約四十七%に達したとか。その大きな原因は「プロポーズのできない男性」が増えたことにありそうだ。

第一の理由は、コミュニケーション能力の低下。第二は、プロポーズしても断られるのが怖いという。傷つきたくない症候群。そして第三は、失業や倒産への恐れから家庭を持つ自信がないこと。逆チョコブームは、そうした気弱な男性諸氏の背中を後押しする「愛の仕掛け人」だったかもしれない。かたや女性も、この不景気で一生働ける仕事を見つけてるのは大変であり、何と

か伴侶をゲットするための作戦を駆使する。その昨今のトレンドが「自分磨き」なのだ。以前ならばブランド品で身を固めたり高額なエステ通いもできたが、不景気な今は無理。そこで「せめて素肌は美しく整えて上品に見せたい」とパックにいそしむのだ、という分析もある。

そういえば、ちまたでは三十代前後の女性に、「上品な歩き方」や「品格のある話し方」などを教える「マナー教室」が人気とか。これも、節約時代のおしゃれ術の一例だろうか。

◆ モノが売れない時代には、自分を売る。にもあの手この手の工夫が要るようだ。

NML野村オフィス  
代表 野村 正樹

## 会議所3月の動き

- 1日(日)・城下町しばたもちもち会 雑煮炊き
- 2日(月)・正副会頭会議
- 4日(水)・社会福祉法人加治川郷 第4回理事会
- 5日(木)・新発田市商工観光振興協議会委員会・企画調整会議
- 6日(金)・平成20年度 新潟県商工会議所青年部連合会  
・第5回役員会・会長会議並びに次年度予定者会議
- 9日(月)・駅前交番竣工見学会  
・自由民主党新潟県商工業振興議員連盟懇談会
- 10日(火)・(社)新潟県商工会議所連合会 第2回理事会、第2回通常総会  
・社会保険委員事務研修会  
・しばたショッピングセンター店舗運営管理協議会
- 11日(水)・常議員会  
・公正取引委員会 地域別懇談会
- 12日(木)・新発田地域自殺対策推進協議会
- 15日(日)・新発田市成人式
- 16日(月)・新発田地区防災協議会 理事会
- 18日(水)・日商委員会  
・CCI & AXA トップマネジメントカンファレンス
- 19日(木)・第16回新潟職業能力開発短期大学校 卒業式  
・燕商工会議所振興委員視察  
・日本商工会議所第109回通常委員総会
- 20日(金)・敬和学園大学新井明学長さまなら講演会及び送別の会
- 23日(月)・(社)新発田育英会 理事・評議員会
- 24日(火)・新入社員セミナー(～25日)
- 25日(水)・町下越総合健康開発センター評議員会  
・小売商業部会及び新発田市商店会連絡協議会合同会議
- 27日(金)・通常議員総会
- 30日(月)・(社)のぞみの家福祉会 第3回評議員会  
・(社)新発田市まちづくり振興公社評議員会